

## 「ぼく・わたしのあこがれの人紹介」

～She can run fast. He can jump high.～

～Who is your hero?～

(We Can! 1 Unit5・9)

本単元で育成する資質・能力

問題解決力・自己肯定感

日 時 平成31年1月18日(金) 第5校時

学 年 第5学年1組 (男子15名 女子9名 計 24名)

## 1 単元について

## (1) 単元観

- 本単元では、人称代名詞“He/She”と、「できる・できない」の表現について扱う。

## 話すこと(やり取り)イ

日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

## 読むこと イ

音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

## 書くこと イ

自分のことや身近な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

また、新学習指導要領をうけて、上記の目標と関連した単元設定とする。

本単元は、自分が懂れていたたり、目標にしていたりする人物について考えることで、自分と相手以外の第三者を表現する方法や、その人物を選んだ理由を表現する方法を学習することができる。第三者の誰かについて、できることやできないことを聞いたり言ったりすることで、児童の、英語で表現する世界を広げることができ、友達と思いを交流しあうことで、友達に対する理解をさらに深めることができる単元である。

## (2) 児童観

- 「小学校外国語活動実施状況調査」の児童アンケートの結果(9月実施)を分析すると、本学級の児童は、外国語活動の授業に意欲的に取り組んでいることが分かった。また、本単元に関わって、「ゆっくりはっきり話されると、話のおおまかな内容が分かる」の項目では96%の児童が肯定的評価をしている。これまでに、たくさんの英語を聞いて、内容が理解できるという成功体験を積み重ねたことで、児童が英語学習への自信を深めているのではないかと考える。

一方で、「会話が続くように知っている表現を使うようにしている。(83%)」と「話すこと(やり取り)」に関する項目では、5月実施の結果よりも肯定的評価が低かった。また、「英語を書くときには、単語を並べる順番を考えながら書いている。(書くこと・91%)」「英語の文字を読むことができる。(読むこと・78%)」についても、5月実施の結果よりも肯定的評価が低かった。

### (3) 指導観

- 指導に当たっては、「児童の聞く力を生かし、児童が表現したい語彙に十分に慣れ親しませること。」「自信を持って十分に慣れ親しませた語彙や表現を活用させるために、やり取りのモデルを提示したり、児童により良いコミュニケーションの工夫を考えさせたりしながら、試行錯誤しながらやり取りの質を高めること。」「十分に慣れ親しんだ表現の音声と、文字の形や音の意味を結び付けること」「十分に音声で慣れ親しんだ表現を使って、例文を参考にしながら少しずつ書くこと」を取り入れた単元計画、授業計画を立てることが必要であると考える。

本単元を通して、話すことから読むこと・書くことに繋げるために、次の点に留意した指導を行う。

- ① 初めて出会う英語の音や文字でも、意味が簡単に類推できるように、地域や町など身の回りにあるものを学習教材として取り上げたり、身の回りのものと英語の音声や文字を結びつけることができるように、イラストや写真を提示したりする。
- ② HRT・ALTと児童とのやり取りの機会を増やし、自然と学習する語彙や表現を聞く機会を増やす。またそのやり取りの中で、児童が表現したいが言い方が分からない語彙を導入し、表現力の向上につなげる。
- ③ 単純な英語を繰り返し練習するような活動ではなく、児童が「伝えたい。」「言いたい。」と思えるような発話する必然性のある文脈を設定することで、コミュニケーションの楽しさや面白さを経験できる機会を多く設定する。

本単元の最後には、「自分が懂れている人物の紹介カードを作る」という活動を設定し、児童が尊敬していたり、懂っていたりする人物を、三人称や「できる・できない」の表現を使って、ポスター紹介をする活動を行う。単元のゴールに向けて、第1時では、ALTや担任が子どもに懂っていた人物をクイズ形式で紹介することで、学習への意欲付けを行う。第2時から第5時では、紹介したい人物の職業やできることなどの表現に十分慣れ親しませながら、文字を読んだり文の一部を書き写したりする活動を行い、ポスター作成を行う。第6時では、つくったポスターを読み合う活動を通して、その児童が伝えたかったことを読み取ることができる活動を設定する。単元構成を逆向き設計し、児童に付けたい力を明確にした活動を行うことで、アンケートから分かった課題を解消したい。

2 単元構成について

単元目標	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
	相手に配慮しながら、憧れの人物について紹介したり、相手の伝えたいことを聞き取ったりする。	三人称や「できる・できない」の表現、職業の表現に慣れ親しむ。英語の音声と文字に慣れ親しむ。	例文を参考に、表現したい文を書き写すことで、英語と日本語の語順の違いに気付く。
言語材料 (下線：新出)	<b>【表現】</b> <u>Who is your hero? This is my hero. [He / She] is (a baseball player).</u> <u>[He / She] can (run fast). [He / She] can't (swim).</u> <b>【語彙】</b> 職業 動作 形容詞(cool / funny / fantastic / great / good など)		



児童の 目指すべき 姿	外国語に関する技能				資質・能力	
	聞くこと	読むこと	話すこと	書くこと	自己肯定感	問題解決力
人物紹介を聞き、名前や誕生日、職業などおおまかな内容を聞き取っている。	十分に慣れ親しんだ表現について、音声と文字を結び付けながら読んでいる。	憧れの人物を、自分の考えや気持ちを含めて伝え合っている。	憧れの人物について、語順を意識しながら、文の一部を変えて書き写している。	意欲的に、できることやできないことを考えたり、学習した表現を使い、一生懸命相手に伝えたりしようとしている。	学習したことを元に、必要な情報を整理しながら、何をどのように伝えたらよいかを思考・判断し、表現することで、課題を解決している。	



単元のゴール	☆ ALT や友達に、自分が憧れている人物について、名前や職業、できることをポスターにまとめ紹介する。
	<b>【発表の例】</b> S: This is my hero. He is Ohtani Shohei. He is a baseball player. He can play baseball very well. (名前, 職業, できることを含む4文程度の紹介文を考え発表する。)

単元計画 (・めあて) ・☆Small Talk ・【聞】【話】【書】【読】 ・本時で学習する表現)

時	学習内容 (□は使用表現, ○は活動例)	評価の観点			評価規準	評価方法	
		コ	慣	言			
課題の設定	1	<p>めあて だれの「あこがれの人」？</p> <p>☆Small Talk：単元のゴールの明示+三人称の導入</p> <p>【聞】音声を聞いて，三人称の表現に慣れ親しむ。</p> <p>○人物クイズ ○インタビュー</p> <p>Who is this? <b>He</b> is Ohtani Syohei. <b>She</b> is Kodaira Nao.  <b>He</b> is a baseball player. <b>She</b> is a skater.  <b>He</b> can play baseball. <b>She</b> can skate very well.</p>		○		●英語の音声を聞いて，どの人物についてか考えている。	行動観察 振り返り カード
	2	<p>めあて この人の職業はなに？</p> <p>☆Small Talk：職業について。</p> <p>【聞】職業の表現に慣れ親しむ。</p> <p>○インタビュー (T/S S/S) ○ポインティングゲーム</p> <p>T: Who is your hero?  S: My hero is Ohtani Shohei.  T: What's his job?  S: He is <b>a baseball player</b>. (やり取りを通して語彙を増やす。)</p>		○		●職業の表現に慣れ親しんでいる。	行動観察 振り返り カード
	3	<p>めあて この人ができることはなに？</p> <p>☆Small Talk：憧れの人物の職業について (T/S S/S)</p> <p>【聞】人物ができることを聞き取ろうとしている。</p> <p>【話】三人称や職業の表現を使って，憧れの人物を紹介しようとしている。</p> <p>○Let's listen2 ○ポインティングゲーム</p> <p>He is a baseball player. She is a skater.  <b>He can play baseball. She can skate very well.</b></p>		○		●三人称や職業・できることの表現に慣れ親しんでいる。	行動観察 振り返り カード
情報収集							

	4 (本時)	<p><b>めあて</b> 紹介する文を書こう。</p> <p>☆<b>Small Talk</b> ポスターの作り方について。</p> <p>【<b>読</b>】十分に慣れ親しんだ音声を元に、文字を読もうとしている。</p> <p>【<b>書</b>】例文の一部を変えて、憧れの人の職業や名前を書き写している。</p> <p>○ポインティングゲーム      ○書く活動</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>He is Ohtani Shohei. He is a baseball player. He can play baseball very well.</p> </div>			○	●伝えたいことに合わせて、例文を元に文の一部を書き写している。	行動観察 振り返り カード
	5	<p><b>めあて</b> 人物紹介ポスターを作ろう。</p> <p>☆<b>Small Talk</b> ポスター紹介について</p> <p>【<b>読</b>】十分に慣れ親しんだ音声を元に、文字を読もうとしている。</p> <p>【<b>書</b>】例文を参考にしながら、名前や職業、できることなどを書き写している。</p> <p>○ポスター作り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>He is Ohtani Shohei. He is a baseball player. He can play baseball very well.</p> </div>			○	●伝えたいことに合わせて、例文を元に文の一部を書き写している。	行動観察 振り返り カード
まとめ・創造・表現	6	<p><b>めあて</b> 「あこがれの人」を紹介しよう。</p> <p>☆<b>Small Talk</b> 人物紹介について</p> <p>【<b>聞</b>】友達の発表を聞いて、職業やできることなどを聞き取り、大まかな内容を捉えようとしている。</p> <p>【<b>話</b>】伝えたいことに応じて必要な語句を選び、憧れの人物を発表している。</p> <p>○ポスター発表</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>This is my hero. He is Ohtani Shohei. He is a baseball player. He can play baseball very well. (名前, 職業, できること, 感想を含む4文程度の紹介文を考え発表する。)</p> </div>			○	●相手に配慮しながら、ポスターをつかった発表している。	行動観察 振り返り カード 作品

【ポスター見本】

This is  
my hero.

He is Ohtani Shohei.

He is a baseball player.

He can run fast.

“He is”と“He can”の部分はなぞり書きをする。名前，職業，できることは書き写しをする。  
※必要に応じて絵を描き，視覚的にも英語の意味が推測できるようにする。

裏面には，憧れる人物の写真などを貼る。

4 本時の展開

(1) 本時の目標

○憧れの人物を紹介するために、友達に人物の名前や職業を伝えたり文を書いたりすることに慣れ親しむ。

- ・例文の一部を変えて、憧れの人の職業や名前を書き写している。【書】
- ・十分に慣れ親しんだ音声を元に、文字を読もうとしている。【読】

(2) 本時の評価規準

伝えたいことに合わせて、例文を元に文の一部を書き写している。 【言語や文化に関する気付き】

(3) 本時で育成したい資質・能力

**問題解決力** **自己肯定感**

(4) 学習の流れ

過程	学習サイクル	児童の学習活動	指導者の活動		・指導上の留意点 ○具体的評価規準 (評価方法)
			T1	T2 (ALT)	
導入 (Introduction)	ステップ1 (考えをもつ)	1 Greeting 挨拶をして学習の雰囲気作りをする。	Good afternoon! How are you?	Good afternoon!	・既習事項を活用したテーマ設定にする。  ・キーフレーズを視覚化するため 板書掲示をする。
		2 Chat 人物の職業やできることなどを考えて伝え合う。(T/S)	Let's talk.	What's his job? What can he do?	
		3 Small Talk T1 と T2 のやり取りを聞き課題を類推する。	T2: I make a quiz about this person. (写真を見せる。) T1: OK. I'll try it! Let's try, everyone. (問題の選択肢を提示する。) T2: He is (Name). No,1. What's his job? T1: Can you read? (ヒントを与えながら選択肢を読む。) What's the answer? T2: The answer is (A.). Great job! No, 2. What can he do? T1: A, ( ). B, ( ). C, ( ). What's the answer? T2: The answer is (A.). Fantastic! You can read all the words!		
		4 Today's goal 本時のめあてを確認する。	Check today's goal.		
		紹介する文を書こう。			

展開 (development)	ステップ2 (伝える) ↓ ステップ3 (考えを深める)	<p>5 Activity</p> <p>○Listening</p> <p>・ポインティングゲーム 前時までの学習を振り返る活動を行う。</p> <p>○Speaking</p> <p>・やり取り 自分が紹介したい人物の名前や職業, できることを伝え合う。</p> <p>○Writing</p> <p>やり取りしたことを踏まえて, ポスター作成に必要な文を, 例文を参考にしながら書き写す。</p>	<p>Let's play pointing game.</p> <p>Talk about your hero.</p> <p>Let's write sentences.</p>	<p>*help teacher</p> <p>*Reword what STs describe.</p> <p>*Help STs make a poster.</p>	<p>・既習事項の絵カードや文字を掲示し, 文字や絵と音声を結びつけるようにする。</p>
まとめ (summary)	振り返り	<p>6 Reflection</p> <p>本時の学習について, 活動面と言語面での振り返りをする。</p> <p>7 Greeting</p> <p>挨拶をして余韻を持って学習を終える。</p>	<p>Write 振り返り card.</p> <p>That's all for today.</p> <p>Thank you!</p> <p>See you!</p>	<p>Thank you!</p> <p>See you!</p>	<p>●伝えたいことに合わせて, 例文を元に文の一部を書き写している。【言】(行動観察・振り返り・ワークシート)</p>

(5) 板書計画

<p><b>Big Smile</b> <b>Eye Contact</b> <b>Clear Voice</b></p>	<p><b>Today's Goal</b></p>	<p>1/18 紹介する文を書こう。</p>	<p>職業を表す 絵カード</p>	<p>動作を表す 絵カード</p>
<p><b>Greeting</b> <b>Chat</b> <b>Small Talk</b> <b>Today's Goal</b> <b>Activity</b> <b>Reflection</b> <b>Greeting</b></p>	<p>No.1</p>	<p>A. He is a singer.</p>		
	<p>B. He is a skater.</p>			
	<p>C. He is a baker.</p>			
	<p>No.2</p>	<p>A. He can play baseball.</p>		
	<p>B. He can fun fast.</p>			
	<p>C. He can sing well.</p>			